

20泰振第101号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

泰阜村長 松島 貞治



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼の標記については、別紙のとおり提出します。

長野県下伊那郡泰阜村 3236-1
泰阜村役場振興課
振興課長 木下忠彦
Tel 0260-26-2111 Fax 0260-26-2553
Email sinkou@vill.yaeuoka.nagano.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 泰阜村

ア、道路改良を全国一律基準でなく地域にあった道路を。

これについては、年々改善されているが、さらに検討をされたい。代表事例でいえば、山村の道路には歩道はいらない。また、道路の勾配基準を1パーセント緩和してくれれば、道路延長距離が数百メートル短縮される。その基準も柔軟に。

イ、高速道路管理は、民間になったと思うが、高速道路の作業をするときに、長く片側を通行止めにするが、なるべく短くするような配慮がほしい。公団当時と同じ、利用者のことを考えない態度に見える。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

長野県 泰阜村

○ 現状

ア、いまだ大型バスが通行できない状況。修学旅行に行く子供たちは、隣村の道の駅まで親が送迎。

イ、中心市へ30分以内、という目標はあるが、いまだ道路のネットワークが改善されず、フローの効果さえ出していない

○ 課題

ア、道路改良は、交通量の多いところ、人口の多いところが優先されて実施されてきた。その間、人口の少ない山村も道路財源を負担してきた。今度は、山村の改良というときに一般財源化という問題。現状を改善するには、財源確保しかなく、何としても地方の道路改良予算を確保していただきたい。

イ、ネットワークでも財源が見えないため、地域住民に計画を示せない。そのため夢が持てず、地域計画もままならない。10年間のビジョンが示せる財源確保を。

「飯田市」を中心とした人間と自然が調和した南信州。その南信州を作り上げるキーワードは、自立。現在、定住自立圏構想に基づいての計画を検討中。飯田市では、経済自立度70%を目標。周辺町村もそれに呼応している。その経済基盤を支えるのが道路。中心市への直線道路（中心市と30分以内）と周辺を結ぶ環状道路の整備ができて始めてストック効果に期待できる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長野県 泰阜村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	三遠南信地域の連携と三遠南信道路の建設	遠州や三河との交流をすすめると同時に浜松との経済交流により、経済自立度アップを期待	
・住民の安心・安全の向上	高齢化も進み住民の願いは、安心。病院への距離の短縮、福祉サービスの迅速化	安心の地域の提供により、定住者の増加	